

SOLUTION BRIEF

FortiMail Cloud の Email Continuity サービスで 価値ある生産性を保護する

概要

ビジネスにとって極めて重要なEメールサービスで障害が発生すれば、組織は損害を被ることとなります。クラウドベースのEメールサービスに移行したとしても、インフラ整備、パッチ適用、設定管理の負担は軽減されますが、Eメールサービスの障害が発生しないわけではありません。実際、Eメールサービスの障害は時折発生しており、その影響とコストは、主にクラウドベースのEメールサービス利用者側が負担しています。つまり、組織にはEメールの障害に伴うリスクを軽減するための対策が必要です。

FortiMail CloudのEmail Continuityサービスは、Eメールサービスが計画外に停止した場合のリスクとコストを軽減する効果的なソリューションです。従業員の生産性を維持することができる低価格なソリューションであり、導入後1度目の障害から投資の数倍に値する価値を得られることも少なくありません。

障害に伴うコストを計算する

Data Foundry社によると、障害に伴う組織のコストは、簡単な計算式を使って見積もることができます⁴。

$$\text{生産性コスト} = E \times \% \times C \times H$$

この計算式において、Eは影響を受ける従業員の数、%は影響を受ける業務の割合、Cは1時間あたりの平均人件費、Hはサービス停止または障害の持続時間を表します。この計算式に基づき、3種類の規模の組織において、従業員が業務の25%をEメール対応（読む、書く）に費やしていると仮定し、平均人件費を75,000ドルとして、3時間にわたる障害が発生した場合の生産性コストを導くことができます。

記号	説明	シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3
E	= 従業員数	250	2,500	10,000
%	= 業務の 25%	25%	25%	25%
C	= 75,000 ドル / 2,080 時間 = 1 時間あたり 36 ドル	36 ドル	36 ドル	36 ドル
H	= 3 時間	3	3	3
生産性コスト（1 回の障害あたり）		6,750 ドル	67,500 ドル	270,000 ドル

障害は発生する

2020 年、Microsoft 365 サービスが利用できなくなる障害が 3 週間で計 3 回も発生しました¹。2021 年 3 月には、推定 4 時間にわたり同サービスが停止し、Eメールやその他のアプリケーションに影響しました²。Google Workspace サービスは、2020 年 8 月に世界規模での障害を起こしました。同サービスは、2020 年 3 月にも障害を起こしています³。

障害はオンプレミスの Exchange Server に限ったことではない

クラウドベースの E メールサービスへ移行することで、インフラ整備、パッチ適用、設定管理などの負担は軽減されますが、E メールサービスの障害が解消されるわけではありません。実際、クラウドベースの E メールサービスでも、時折障害が発生しています。

Microsoft 365 と Google Workspace は、どちらもコミュニケーション、生産性向上、コラボレーションをサポートする素晴らしいサービスです。ところが、両企業がこれらの複雑なサービスを常時稼働させておくために最善を尽くしているにもかかわらず、事故や障害は発生します。だからこそ、組織は E メールサービス障害が発生した場合の影響を解消することができる、あるいは軽減することができる対策について評価する必要があります。

リスク軽減戦略としての Eメールの継続性

Eメールの継続性とは、Eメールサービスの停止に伴う影響とコストを軽減し、従業員の生産性を維持することによって、組織のブランド評価を守ることができる確かな戦略です。FortiMail Cloud の Eメール継続性サービス「Email Continuity」は、サービスの計画外停止が発生した場合に、その影響とコストをほぼゼロに抑えられる保険として利用することができます。

Email Continuity は、セキュア Eメールゲートウェイとして、オンプレミス (Microsoft Exchange Server など) かクラウド (Microsoft 365 や Google Workspace など) かにかかわらず、Eメールサーバーに送信される Eメールを順番にサンタイズし、セキュリティを適用したうえで、動的に保存する、FortiMail Cloud に追加可能なサービスです。

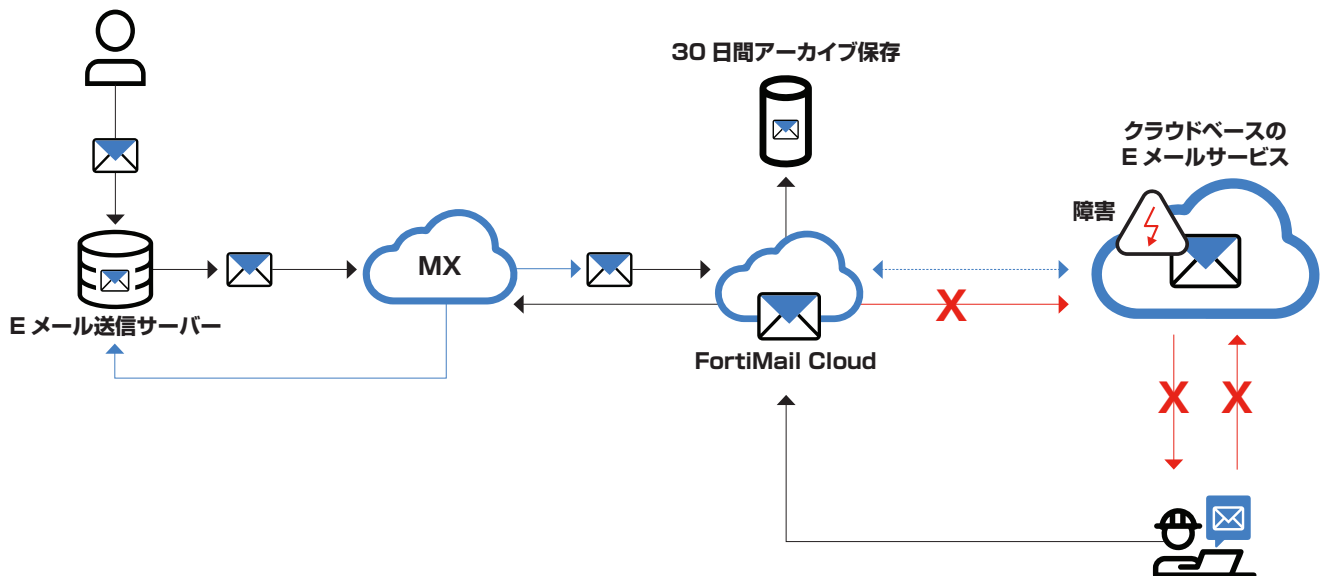


図 1 : FortiMail Cloud のアーキテクチャ

障害発生時には、この FortiMail Cloud がゲートウェイとサーバーのハイブリッドモードで稼働するため、従業員は別の Web メールインターフェースから Eメールサービスにアクセスし、動的に保存される Eメールにアクセスすることが可能になります。つまり、サービス停止中でも Eメールの送受信ができるのです。さらに障害が解消したら、Eメールは同期されるため、障害発生中に送受信した Eメールも元の Eメールサービスから確認することができます。障害発生時でも、この FortiMail Cloud が常に稼働するので、Eメールセキュリティの効果や可用性が制限されたり、喪失することがありません。

主な機能

FortiMail Cloud の Email Continuity サービスの主な特長：

- E メールサービスのディザスタリカバリを瞬時に対応
- 30 日分の E メールキューを動的に保存
- 常時セキュリティを提供
- E メール作成、送信、受信が可能
- 添付ファイルのダウンロードやアクセスが可能
- 連絡先の閲覧が可能
- 自動的に再接続して同期

計画外のサービス停止によるコスト

従業員数2,500人の組織でEメールサービスが3時間停止した場合、そのコストは約67,500ドルに及ぶ可能性があります。

FortiMail Cloud の Email Continuity は、組織の E メールサービスで障害が発生した際に、緊急メールボックスサービスを提供することによって価値ある生産性を保護するよう設計されています。Email Continuity が E メールサービスの中断や停止の問題を解決します。Email Continuity サービスには次のようなメリットがあります。

- E メールサービスの障害に伴う影響を軽減
- 従業員やユーザーは、FortiMail を通じてキュー内の E メールに直接アクセスできるため、障害はほぼ瞬間的に復旧可能
- サービス停止前、停止中、停止後にかかわらず、最大 30 日分のキューとして保存される E メールにアクセス可能
- 常時中断されない E メールセキュリティを確保

結論

FortiMail Cloud の Email Continuity サービスは、メインの E メールサービスが予定外に中断、停止したことに伴うリスクとコストを軽減することができる効果的なソリューションです。クラウドベースのサービスは常時接続しているものと考えたいところですが、実際には、どんなに優れた SaaS アプリケーションやクラウドベースのリソースでも、時折サービス障害が発生しています。Email Continuity サービスは、従業員の生産性を維持する低価格なソリューションであり、多くのケースにおいて、わずか 1 度の障害で投資を回収することができます。

¹ 「Very Frustrating」: Microsoft Office 365 Outage Hits U.S. Again, CRN, 2020 年 10 月 7 日 (英語)
<https://www.crn.com/news/cloud/very-frustrating-microsoft-office-365-outage-hits-u-s-again>

² 「Microsoft Teams, Exchange and more went down for four hours on Monday」, The Verge, 2021 年 3 月 15 日 (英語)
<https://www.theverge.com/2021/3/15/22332539/microsoft-teams-down-outage-connectivity-issues>

³ 「Google suffers global outage affecting Gmail and many G Suite services」, ZDNet, 2020 年 8 月 20 日 (英語)
<https://www.zdnet.com/article/google-suffers-global-outage-affecting-gmail-and-many-g-suite-services/>

⁴ 「How to Calculate the True Cost of Downtime」, Data Foundry, 2021 年 3 月 17 日 (英語)
<https://www.datafoundry.com/blog/how-to-calculate-the-true-cost-of-downtime>



フォーティネットジャパン合同会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ